

目 次

第 19 号 2011 年 12 月

研究ノート

- 新規鉄酸化物($\text{Sr,Ba}\text{FeO}_2$)の合成とその構造, 物性..... 山本隆文, 陰山 洋...3
- サイト分解 EELS 法による局所状態解析..... 倉田博基...12
- 真空紫外超短パルスの発生と光電子分光への応用..... 足立俊輔...18

技術ノート

- 宇治キャンパスにおけるヘリウム液化・回収システムの更新
.....楠田敏之, 寺嶋孝仁...23

センターセミナー報告.....28

運営委員会より

- 寒剤供給状況 吉田キャンパス・宇治キャンパス・桂キャンパス30
- 専任教員名簿.....32

投稿案内.....33

編集後記.....34

Table of Contents

Research Reports

Synthesis, Structure and physical properties of (Sr,Ba)FeO₂
..... Takafumi Yamamoto and Hiroshi Kageyama ...3

Local state analysis by site-resolved EELS Hiroki Kurata ...12

Generation of vacuum-UV ultrashort pulse and its application to photoelectron spectroscopy
.....Syunsuke Adachi...18

Technical Note

Renewal of helium liquefaction and recovery system in Uji campus
.....Toshiyuki Kusuda, Takahito Terashima...23

LTM Center Seminars.....28

From Organizing Committee

Amounts of Cryogen Consumptions : Yoshida Campus, Uji Campus and Katsura Campus ...30

Research staffs of the LTM center32

Call for Manuscript.....33

Editor's Note.....34

「京都大学低温物質科学研究センター誌 (LTMセンター誌)」への投稿の
お誘い並びに原稿の作成要領
Call for Manuscripts for
"Low Temperature and Materials Sciences (Kyoto University)"

前川 覚^{1,2}, 編集委員会²

¹京都大学大学院人間・環境学研究科, ²京都大学低温物質科学研究センター
S. Maegawa^{1,2} and Editorial Committee²

¹Graduate School of Human and Environmental Studies, Kyoto University,
²Research Center for Low Temperature and Materials Sciences, Kyoto University

所属の後にAbstractを数行, 英文で書いてください.

1. はじめに

「京都大学低温物質科学研究センター誌 (通称: LTMセンター誌, 英文名: Low Temperature and Materials Sciences (Kyoto University))」では, 低温物質科学研究センターが提供する寒剤・共通機器の利用者の皆様や関係者の皆様より「研究ノート」, 「技術ノート」, 「サロン」への投稿を歓迎いたします. 投稿されました原稿は, 編集委員会で審議のうえ掲載の可否を決定いたします. 投稿にあたっては, 電子ファイルを下記†宛にお送りください. また, 併せて印刷原稿も†宛に郵送または持参いただきますようお願いいたします. 初校刷りは電子ファイルより作成しますので, 以下第2章を御参照のうえMS-Wordを用いて作成してください. InDesignまたはQuarkXPressのファイルでも結構です. なお, 編集委員会からの原稿依頼も行いますので, 依頼させていただいた際にはよろしくお願い申し上げます.

2. 原稿の作成要領

A4用紙の上下左右に25 mmずつマージンをとって, 和文表題, 英文表題, 和文著者・所属, 英文著者・所属, アブストラクト (英文), 本文, 参考文献, 著者写真 (35mm (幅) ×40mm (高さ)), 著者略歴の順に記述してください. 本文は1行あたり全角45文字, 1 ページあたり40行を基準にしてください. 漢字・かな・カナにはMS明朝, 英字・数字にはTimes New Roman, 本文中の見出しにはMSゴシック (またはこれらに準じる書体) を使用してください. 表題は14 point, 著者・所属は12 point, 本文は10.5 point, 図・表のキャプションは10 point の文字を用いてください. 表題の前に空行を3行入れてください. 本文中, 物理記号を表す記号は斜体 (イタリック), 単位記号は立体 (ローマン) で表記し, 物理量と単位の間や数字と記号の間にはスペースを1個入れてください. また, 章の間にもスペースを1行設けてください. 句読点は「.,」に統一してください.

図は高解像度のものを本文中に貼り付けてください. カラー印刷が可能ですので, できるだけカラーの図を使用してください. その他の細部については, 本稿ならびに下記Ref. [1,2] のスタイルを参考にしてください.

参 考 文 献

[引用番号] 著者名, 雑誌名, 巻数, 最初のページ番号, 年の順でお願いします.

例)

[1] 寺嶋孝仁, 京都大学低温物質科学研究センター誌 **8**, 26 (2005).

[2] K. Mibu, Low Temperature and Materials Sciences (Kyoto University) **1**, 13 (2003).

† 京都大学低温物質科学研究センター誌編集委員会, 〒606-8501京都市左京区吉田本町,

Tel:075-753-9521 Fax: 075-753-9521 E-mail:terashim@scl.kyoto-u.ac.jp(寺嶋孝仁)

このセンター誌は 2002 年度に低温物質科学研究センターが設立したのを契機に、それまで 79 号に亘り刊行されてきた「極低温研究室月報」をリニューアルして生まれたものです。年 2 回、6 月と 12 月に発行し、センターおよび関連部局の教職員の方々に広い範囲に亘る低温科学、物質科学について最新の研究成果、技術を紹介していただき、教職員の情報交換、交流に重要な役割を果たしてきております。現在、大学を取り巻く環境の大きな変化により、本センターも変革が避けられない状況に至っておりますが、このセンター誌につきましては今後も継続して情報発信の役割を担っていきたいと考えております。皆様のご協力をお願いいたします。

T. T.

京都大学 低温物質科学研究センター誌

Low Temperature and Materials Sciences

(Kyoto University)

第19号 2011 年 12 月 Volume 19, December 2011

編集委員会：寺嶋 孝仁（編集委員長）、前川 覚、
矢持 秀起、石田 憲二、中村 裕之、
芝内 孝禎、藤原 直樹、前里 光彦

事務局：〒606-8501京都市左京区吉田本町
京都大学 低温物質科学研究センター

Tel:075-753-9521 Fax:075-753-9521

E-mail: terashim@scl.kyoto-u.ac.jp(寺嶋孝仁)

印刷：創文堂印刷